

[図書館] 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	R1 度計画額（単位：千円）		R1 年度必要人工	
			計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	図書館運営事業	B	30,761	158	2.8	6.5
2	人が集まる空間づくり	B	280	0	0.2	0
合 計			31,041	158	3.0	6.5

■特記事項

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	図書館	No.	1
事業名	図書館運営事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が活きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	<p>誰もが生涯にわたって、心豊かな充実した人生が送れるように、利用者のニーズに合った資料・情報の収集、提供に努めると共に、新たな本との出会いの場を創出し、図書館サービスの向上を図る。また、小さな時から本に親しむ習慣を育み、読書活動の推進に努めるとともに、郷土資料を“文化財”として守り、後世に伝える。</p>		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算・決算及び経理に関すること ・ 図書館の調査及び統計に関すること ・ 図書館の広報に関すること ・ 図書館年報の作成 ・ 図書資料の貸出・返却に関すること ・ レファレンス(参考調査)に関すること ・ 図書館資料の選書に関すること <ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土資料の収集・保存等に関すること ・ 読書活動の推進に関すること ・ おはなし会・上映会等のイベント開催に関すること ・ 図書館資料の分類・整理及び目録作成・保管に関すること ・ その他必要な業務 		
現在における経過又は課題	<p>現在の図書館では面積や設備に限界があり、住民の多様化・高度化するニーズに追いつくのが難しい状況にある。特に若者を中心にスマートフォンの利用による本離れの傾向もあり、平成21年度をピークに図書館の利用者数は減少している。</p> <p>また、図書の選書については、予約・リクエストなどの利用者ニーズをはじめ、本の売り上げランキングも参考にしながら情報収集に努めることが課題となっている。</p>		
令和元年度の目標又は改善策	<p>利用者の利便性向上を図るため、広報の図書館だよりやホームページでの掲載内容の充実を図り、新しい本などの収書の情報発信に努める。</p>		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4	子どもの読書週間 4月23日(火)～5月12日(日)
5	○「がんばれ！子ども一日司書さん」対象小学校5・6年（午前・午後 12名） 5月18日(土)・19日(日) ◇「プラネタリウムがやってきた！」（定員40名×4回） 5月25日(土)
6	○「図書館本のリユース」 6月14日(金)団体・6月15日(土)一般 ●課題図書の出し開始 6月1日(土)～8月31日(土)
7	○「夏休みおはなし会」（ボランティア団体） 7月13日(土)
8	○夏休みチャレンジ講座 8月6日(火) まちネット主催 △夏のこども映画会 8月24日(土)
9	○秋のおはなし会（ボランティア団体） 9月21日(土) ●第1回 図書館協議会開催 図書館特別休館 9月30日(月)～10月7日(月)
10	○「読書週間おはなし会」（ボランティア団体） 10月26日(土) 読書週間 10月27日(日)～11月9日(土)
11	◎ふれあいまつり図書館参加(絵本等の展示・ペーパークラフト) 11月3日(日) ●第2回 図書館協議会開催(先進地図書館視察)
12	○「絵本カフェ」3児童センターと共同開催 ○「クリスマスおはなし会」（ボランティア団体）12月14日(土)
1	△「冬のこども映画会」図書館所有のDVDの上映 1月18日(土)
2	◎「憩いの四季・図書館まつり」仕掛け絵本の展示・おはなし会 2月1日(土)・2日(日) ●第3回 図書館協議会開催
3	◇「春だよ！おはなし会」（ボランティア団体）3月14日(土)
毎週	図書館資料の選書(各誌ランキング・書評・リクエスト等から) 図書の開架・書庫への移動・除籍の検討 各児童センターへ訪問してのおはなし会の実施(北・西・南に月1回ずつ訪問)
毎月	月報の作成 みんな集まれおはなし会 月1回開催(第1日曜日) 第2木曜日の職員全体会での情報共有と職務内容等の検討 館内チラシ「図書館通信」の作成 広報おおぐち「図書館だより」作成 雑誌のリユース 月1回開催(第2土曜日)
その他	年報の作成 郷土資料の整理収集 ホームページで行事等の紹介 図書館内での特設コーナー(1ヵ月で変更) 中央公民館玄関での特設コーナー(2ヵ月で変更)

■事業コスト

		単位	H29 年度決算額	H30 年度予算額	R1 年度当初計画額
事業費		千円	29,814	29,272	30,761
(内特定財源)		千円	95	88	158
人工	職員	人工	3.0	3.0	3.0
	臨時職員	人工	6.5	6.5	6.5
	計	人工	9.5	9.5	9.5

■令和元年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考(充当先等)
20 諸収入-3 雑入-4-8 教育費雑入 -19 書籍忘失等代金	20	10-5-3-03 事業-11 需用費
20 諸収入-3 雑入-4-8 教育費雑入 -23 雑誌スポンサー料収入	138	10-5-3-03 事業-11 需用費
合 計	158	

■令和元年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

項目(科目等)	計画額	増減額	内容
賃金(臨時職員、通勤手当)	14,656	1,124	臨時職員 2/5 人分増加のため

■特記事項

--

■目標又は改善策に対する取組内容

広報の図書館だよりやホームページでの掲載内容を充実させ、利用者の利便性向上に努めた。

また、おはなし会を複数の子育て支援団体と協働で開催するとともに、DVDの上映会も定期的に開催し、子どもたちに図書館の楽しさ、本のおもしろさを伝える機会を作った。

中高生には将来の就業に向けた職場体験学習に協力し、図書館で働くことの意味を知ってもらう機会を作った。

■評価

図書館の利用者数向上に向け、さまざまな企画や他の行事への参加などに努めたことは評価できるが、新規利用者数の向上に繋がっていない。

また、近隣市町の利用者が4割を超えている背景には、近隣市町に比べて児童図書館の蔵書割合が高いことや、雑誌の種類が多いことがあると考えられる。

こうした特徴をさらに伸ばせるよう利用者ニーズを分析し、利用者増へつなげていく工夫が必要である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	図書館	No.	2
事業名	人が集まる空間づくり事業		
総合計画の体系	基本目標	4	人の知恵・技・情報が生きる元気コミュニティを創造する
	基本施策	1	生涯学習の推進
目的	人が集まり、交流することで生まれる熱気が、大口町をさらに元気で魅力的なまちにすると考え、幅広い世代の「ひと・モノ・情報・文化」が集い、交流し、賑わいが生まれる「元気なまちづくり」の象徴となる空間づくりを検討する。		
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・予算・決算及び経理に関すること ・人が集まる空間づくり検討会に関すること 		<ul style="list-style-type: none"> ・その他必要な業務
現在における経過又は課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり住民の知的欲求を満たし、生涯学習を支える最も身近な公共施設として、その役割を果たしてきた図書館も開館から約40年が経過し、近年の新しい図書館が「貸出し中心」から「滞在型」に移行する中で、中央公民館3階という限られたスペースでは、ゆったりとした憩いの時間を過ごすことや、親子のふれあい、人と人の交流といった新たに求められる図書館の役割には、十分に応えることが難しい状況にある。 ・住民のまちづくりの活動拠点であり、情報の発信や交換の場であるNPO法人「まちなっと大口」の事務所は、当初から想定されている場所ではないため、各団体の打ち合わせや作業を行うスペースが手狭な状態にあり、場所も健康文化センターの2階の奥まった場所にあり、一般の住民が気軽に覗いてみようという場所がない。 ・町内で活動する団体・町内企業を含め、総合的にPRする場所がなく、近隣市町のイベント等、住民に有益な情報を幅広く紹介する場所も必要になっている。 		
令和元年度の目標又は改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・“人が集まる空間づくり”は、単に“人が集まる空間”を創るだけでなく、そこに集まった多くの人やモノ、情報がつながること・交流することで、賑わいの相乗効果が生まれ、「新たな大口の元気」を生み出すことが期待できる。 人が集まる空間づくり検討会ではこれまでの検討結果を踏まえ、“人が集まる空間づくり”の実現に向けて、継続的・積極的な推進を行う。 今後は、“人が集まる空間づくり”を「新たな大口の元気」につなげるために、より多くの人々の意見を聞き、関連する団体や企業、行政と連携を取りながら、「5つの柱・5つの機能」をより具体化したパーツを作り、加除し、最も効果的な組み合わせを導き出す必要がある。 		

■作業工程（当該年度）

月	作業内容
4月	○候補地の諸条件を把握して、建設に向けて必要なことを洗い出す。
6月	△検討会開催（候補地の諸条件を説明して、どこに何をどの位の面積必要か等の検討をする。）
8月	△検討会開催（検討したものを図面にして再度検討する。）
9月	○議会に図面等の説明を行う。
10月	○検討した図面をパブリックコメントをホームページ等で行う。
12月	△検討会開催（パブリックコメントを検討する。必要に応じて図面の修正を行う。）
1月	●基本設計
毎週	
毎月	
その他	

■事業コスト

		単位	H29年度決算額	H30年度当初予算額	R1年度計画額
事業費		千円	0	280	280
（内特定財源）		千円	0	0	0
人工	職員	人工			0.2
	臨時職員	人工			0
	計	人工			0.2

※ 平成27年度から図書館運営事業で「新図書館整備調査費」として予算化

■令和元年度計画特定財源内訳

（単位：千円）

特定財源名称	金額	備考（充当先等）
合計		

■令和元年度計画額の主な増減

（新たな取組、臨時経費、廃止項目等）

（単位：千円）

項目（科目等）	計画額	増減額	内容

■ 特記事項

平成28年度から人が集まる空間づくり検討委員会開始。令和元年度は、人が集まる空間づくりの検討を踏まえ議会への報告、パブリックコメント等を実施した後に、基本設計を作成する。事務局については、地域協働課と協働して実施する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

平成31年4月1日にプロジェクトが発足して、今までの図書館・地域協働課中心の体制から町全体の体制に変更され、今後必要な分野の職員も加わった体制ができた。

前年度までに検討してきた内容をプロジェクトメンバーで共有するとともに、具体化するために、7月には図書館を中核としてショッピングセンター・文化教室・住民課・多目的ホール等を有するアンフォーレ安城を視察することで、メンバー間でのイメージを共有した。

その後、方向性に悩みプロジェクト活動は進んでいない状況である。

■ 評価

プロジェクトが発足し、さまざまな課の職員が集まり検討できる体制ができたが、図書館・地域協働課が進めている“人が集まる空間づくり”からの具現化が進んでいない。その一因に町全体での視点がもう少し必要である。